

令和2年度予算を可決

一般会計予算 5,705億円(+290.2億円)

特別会計予算 2,399億円(△280.3億円)

企業会計予算 1,185億円(+123.8億円)

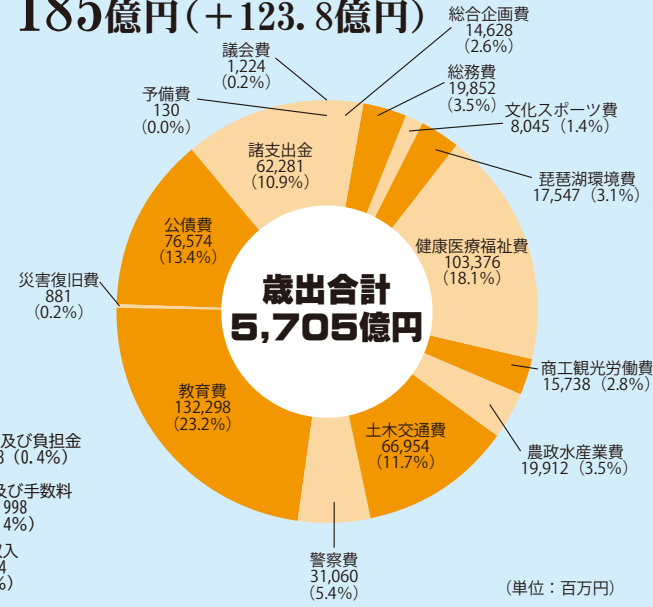
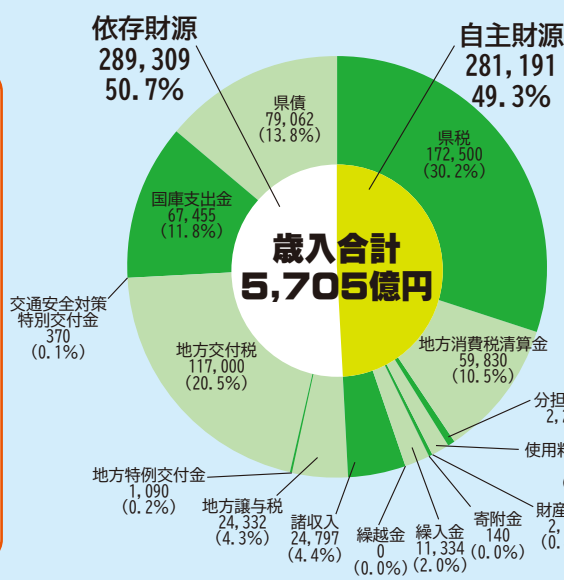
歳入増減

県税	+720億円
地方譲与税	△10億円
地方交付税	+40億円
国庫支出金	+64億円
県債	+161億円 など

歳出増減

防災・減災	+123億円
国スポ・障スポ	+15億円
地方消費税市町交付金	+98億円
教育費	+23億円

健康滋賀への挑戦、1. 人の健康から子ども子育て支援47億円
 国保軽減措置7億円
 地域医療介護総合確保7億円
 保育士等処遇改善26億円
 幼児教育保育無償化20億円
 難病・小児慢性特定疾患2.3億円 など



新型コロナウイルス対策に 3・8億円

滋賀県でも新型コロナウイルス感染症対策で、医療・検査体制の整備と備品等の配布、中小企業の雇用継続に努める事業主に国の支援に上乗せして雇用維持を支援するため、令和元年度補正予算224万円と、令和2年度予算の補正3億8千6百万円で先ず緊急対応を図ります。

セーフティネット資金制度の信用保証料ゼロの利子補填や据え置き期間の延長措置に関する予算を可決し、基幹病院や介護施設などへマスク等の医療用品も行き渡るように体制を整え実行します。

- 新型コロナウイルス感染症24時間相談
☎080-2470-8042
- セーフティネット資金・経営等の相談
窓口は高島市商工会にご相談ください。
☎0740-32-1580
- 他にも県庁中小企業支援課、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、よろず支援拠点、全国商店街振興組合連合会、中小企業基盤整備機構、近畿経済産業局にも相談窓口が設置されています。
- 雇用の継続や労働相談
県労働雇用政策課
☎080-1514-0051
(平日8時30分～17時15分)
- 滋賀労働局総合労働相談コーナー
☎077-522-6648
(平日8時30分～17時15分)
- 滋賀県労働相談所
☎0120-967-164
(平日10時00分～17時00分)



● マスク不足の対応状況
【3月16日～18日】
国から10万枚、県から1.2万枚
【7月の配布予定】
国から24万枚、県から48万枚
引き続き可能な限り対応する

新型コロナウイルス感染症対策は、消毒用アルコールも不足していますが、丁寧な石鹸による手洗いが最も有効のことです。免疫力の向上のため、栄養バランスのよい食事と睡眠を心がけてください。

新型コロナウイルスで縮小卒業式

3月1日、今年も、新型コロナウイルスの影響で県立高校の卒業式は、卒業生と教職員と保護者のみで行われました。横井正弘校長の「努力して後悔した人はいない」・・・「志を果たして」「いや」「志を果たしに、この地に帰ってきてください」との饒の言葉でした。多くの若者が高島から一旦出ていきます。地元に残る若者を敬愛しながら、帰ってきてくれる故郷であるよう環境を守り、仕事を創っていく不断の努力を誓いましょう。



医療的介護付き通学支援がスタート

医療的介護の必要な児童生徒の通学について、看護師さんが付き添ったりしながら、学校へ行けるサポート制度が成立しました。本格実施は秋になるようですが、滋賀県が独自に踏み込んで実施します。

琵琶湖の鯉はスゴイ!

琵琶湖の深いところにすむ在来鯉のDNAが解明され、日本固有の種であることが明らかになってきました。ノゴイなどと呼んでいますが、正式名称も今後決定されることになりそうです。ヤマトゴイや錦鯉は、外来系統種です。

琵琶湖の固有種を守るためにも生態を明らかにし、生存環境を維持する責任があります。産卵期も少し時期が違います。浅瀬で鯉の産卵が今春も無事に行われますように。世界の注目を集める日は近い。

野生型・びわこ在来種



飼育型・外来種



健康推進員さん支援

知事の方針に、健康推進員さんへの支援が表明されました。委嘱は市長からですが、保健所や地域の健康福祉計画に基づき、保健師さんや管理栄養士さんらと活動をなさっています。大切な時間を割き、研修を受け、健康や、栄養指導などを子どもや高齢者層に熱心に啓発して下さっています。忙しい上に、県の発案で一方的に負担が増えないよう、現場の声をよく聞いて支援策を考えるように確認しました。



特定不妊治療費を助成

令和元年度から、体外受精などの保険適用外の特定不妊治療の経済的負担軽減を図るため、国県市により助成を行います。高島市は上乗せがあります。初回35万円2回以降は治療内容により20万円から10万円などです。

● 滋賀県不妊専門相談センター
☎077-548-9083
(平日9時～16時)

